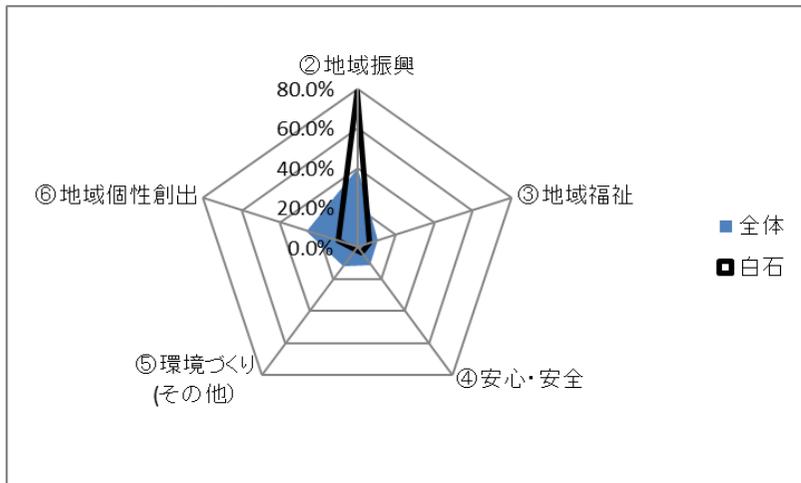


## 白石地区地域づくり協議会 地域づくり交付金事業概要(令和元年度)

### ■地域の情報

地域人口	10,542人	自治会数	40
世帯数	4,661世帯	自治会加入率	86.9%

※数値は、令和2年4月1日のもの



### ■決算状況

交付金配分枠	8,705,000 円
交付金決算額	8,548,748 円
その他収入	735,033 円
交付金決算額／配分額	98.2%

### 各分野の決算

①協議会運営	4,856,803 円
②地域振興	3,484,279 円
③地域福祉	273,736 円
④安心・安全	160,365 円
⑤環境づくり(土木工事)	0 円
⑤環境づくり(その他)	75,248 円
⑥地域個性創出	433,350 円
決算総額	9,283,781 円

### ■地域づくりの活動方針(テーマ)

みんなで作る住みよいまち・白石

### ■総括

交付金の活用によって、専門部会、実行委員会等を中心とした地域課題の解決に向けた取り組みが進んだ。今後についても、第2次地域づくり計画に基づいて、地域課題を解決するための手段としての事業を企画し(P)、地域住民が主体となって遂行し(D)、事業結果(効果)を検証し(S)、改善する仕組みを構築する(A)ために、地区住民同士が自由に話し合える場づくりに重点的に取り組む。

### ■分野別事業名

① 協議会運営	事務員、事務局長人件費、事務費
② 地域振興	地域づくり活動参加促進、広報活動、「やまぐちえき」応援イベント、白石フェスティバル開催支援事業、町内親睦大運動会開催支援事業、町内会親睦活動支援事業、ふるさとまつり参加促進事業
③ 地域福祉	人権啓発活動推進、ノルディックウォーキング講習会、チャレンジ健康づくり、健康食のおススメ、グラウンドゴルフ大会開催、むかし遊び
④ 安心・安全	危険防止看板設置、反射鏡設置、自主防災組織モデル事業、夏休み防災訓練キャンプ、安全パトロール事業
⑤ 環境づくり	五十鈴川を守る会(河川清掃)
⑥ 地域個性創出	お宝写真展開催事業、明治維新150年記念事業

■重点的に取り組んだ事業

事業名	チャレンジ健康づくり事業	決算額	87,229円
①	<p>目的</p> <p>日常的に運動に親しむ地区住民を増加させ、心身とも健康な地域づくりを推進する。</p> <p>実施内容</p> <p>参加者に対して活動量計を貸出し、運動に関するプログラムを月1回のペースで提供。同時に活動量計のチェックを実施し、個人にあった健康的な身体活動量を体感してもらう事業を展開した。</p> <p>実施時期</p> <p>令和元年9月～令和2年2月</p> <p>参加人数</p> <p>29人</p> <p>成果</p> <p>参加者目標50人に対し、35名参加でスタートしたが、6名が途中棄権したものの、最終的に29名が修了した。社会体育部会と地域福祉部会との合同で事業運営を試み、安定した事業展開が図られた。</p> <p>評価</p> <p>チラシやポスターに頼った広報となり、効果が薄かった。当活動の良さを伝えきれない。</p> <p>今後に向けて</p> <p>今後については、従来のチラシ・ポスターに加え、当活動の良さを実感している修了者の口コミを促進する。また、子育て世代にも参加してもらえるよう託児を検討、子ども(小学生を含む)と一緒に出来るメニューを講師に依頼するなど、来年以降も見据え、参加者増につながる施策があれば積極的に取り入れ、受講者の増大を図るべく本事業の周知に努める。 またノルディックウォーキングを本事業に統合する。</p>		
事業名	「やまぐちえき」応援イベント	決算額	680,939円
②	<p>目的</p> <p>JR山口駅を地域住民同士のコミュニケーションの場として活用する。</p> <p>実施内容</p> <p>SLの乗客や山口駅の利用者を対象に、地域住民が協力して心を込めた「おもてなし」イベントを実施。 今年度もJR山口駅の環境美化活動、市内観光ウォーキング活動、駅舎内待合室でのコンサートやよさこい等の演舞を開催した。</p> <p>実施時期</p> <p>平成31年4月、令和元年5月、7月、8月、9月、10月、11月、12月</p> <p>参加人数</p> <p>約80～100人(1開催当り)</p> <p>成果</p> <p>手振りやミニコンサート等のおもてなしイベントを行った。白石地区のマスコットである「しらっぴー」をデザインした特製テントを新たに製作し、来場者、SL利用者を対象とした「おもてなし広場」を開設した。</p> <p>評価</p> <p>カフェの開設により地区住民等来場者がカフェを利用し、交流が図れた。ミニコンサートでは山口駅の利用者や来場者で盛り上がり、プラットホームでの手振りでは子どもから高齢者まで多くの人々が参集しておもてなしを行った。白石地区における幼稚園、保育園、小学校(なかよし学級)におもてなしイベント開催への参加案内をしたところ、たくさんの来場があった。</p> <p>今後に向けて</p> <p>環境美化活動、観光ボランティア、駅舎内コンサート等を継続して行いたい。 新たに山口駅構内待合室等において、ちょうちん祭り、祇園祭等伝統文化や明治維新に関わる名所旧跡などの写真展を開催し、白石地区および近隣地域の魅力を発信するなど深化させ、地域内はもとより他地区交流の礎としたい。 6・10月の観光ボランティアについては、来年度も白石歴史探訪の会とコラボして実施する。</p>		

事業名	ふるさとまつり参加促進事業	決算額	265,066円
③	目的	子どもからお年寄りまで家族ぐるみで地域の祭に参加していただき、地域住民同士の繋がりを深める。	
	実施内容	<p>【ほたるまつり】 実行委員会メンバー他有志で赤煉瓦前広場において、無料休憩所の設営・運営および交通警備を行った。</p> <p>【祇園祭】 御神輿の参加者を対象にサラシの巻き方教室、終了後には直会を開催した。</p> <p>【山口七夕ちょうちんまつり】 一の坂川沿いにちょうちんツリー45本にちょうちん860張の飾りつけ・点灯を行った。また、ほたる広場周辺のちょうちんツリー8本には、保護者や子供たち184名がそれぞれの願いを短冊に書いて飾り付けた。</p>	
	実施時期	令和元年6月1日、7月20・27日、8月7日	
	参加人数	393人	
	成果	<p>【ほたるまつり】 参加者35人。白石カフェは早い時間から常に満席状態であった。</p> <p>【祇園祭】 参加者131人(御神輿担ぎ手109人、直会98人)</p> <p>【山口七夕ちょうちんまつり】 参加者227人(ちょうちんツリー33人、願事短冊194人)</p>	
	評価	本事業が地域住民に周知され、多くの参加者があった。願事短冊では昨年と比較して、親子参加者が10人増加した。	
	今後に向けて	<p>前年度と同様に町内会(地縁団体)からの参加者が少ないことから、町内会連合会を通して単位町内会長へ参加を町内会総会において早期に積極的に要請していく。</p> <p>【ほたる祭り】無料休憩所における机・椅子を拡充する。</p> <p>【祇園祭り】子供神輿、裸坊の警備と練歩きの実施を検討する。</p> <p>【ちょうちん祭り】交通規制の時間を徹底し、安全を確保する。ちょうちん部隊の必要人員を鋭意検討のうえ、募集方法等協議する。</p>	